

令和3年度虐待をしないためのスピーチロック防止研修 B 実施要項

～DJ ポリスも学んだ相手の行動を変える言葉・態度を学ぶ～

1 目的	<p>行動を制限する言葉を使ってしまったことはありませんか。スピーチロックを理解し、対人援助の専門職としてふさわしい言葉の使い方について学ぶことを目的として本研修を開催します。</p> <p>※スピーチロックとは…言葉による拘束のこと。相手の行動を制限する言葉や声掛けをすること</p>
2 研修形態	<p>ライブ配信研修（Zoom オンライン） ※研修日程のとおり</p>
3 配信日	<p>令和3年11月30日（火） 9：55～16：00（Zoom オンライン 5時間） ※Zoom入室開始は9：20～ ※8/19と同内容です。</p>
4 対象者	<p>社会福祉施設・事業所に勤務している直接処遇職員 【定員】95名 ※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。（先着順）</p>
5 受講料等	<p>会員 3,000円（税込）1人あたり・資料代を含む 非会員 5,000円（税込）1人あたり・資料代を含む ※申込締切後、請求書をメールでお送りしますので、期限までに必ずお振込み下さい。期限までに受講料を振り込まれない場合は、研修に参加することができません。</p>
6 申込方法	<p>研修システムにより、お申込下さい。 ※申込された方は、申込締切後「承認通知」をメールで送付します。</p>
7 申込期限	<p>令和3年9月29日（水）～令和3年10月28日（木）まで</p>
8 留意事項	<p>① 修了証の氏名は受講申込者となりますので、受講者を変更する場合は、システムで変更して下さい。</p> <p>② 申込締切後のキャンセルについては、「社会福祉事業従事者研修受講料のキャンセルポリシーについて」をご確認下さい。（代理の方の出席をお勧めします。）</p> <p>③ 受講申込みに記載された個人情報、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。</p> <p>④ 配信などの変更・中止等は、研修システムページに掲載します。⇒掲載場所⇒茨城県社会福祉協議会研修システムページ (https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/) 茨城県社会福祉協議会トップページからシステムページに入れます。</p> <p>⑤ 研修受講場所や方法を事業所で決定してからお申し込み下さい。</p> <p>⑥ 動画を視聴するためには、インターネットに接続できる環境及び資料等をプリントアウトできるプリンタ等を準備していただく必要があります。</p> <p>⑦ 動画と資料データの著作権は、研修講師にあります。録画・録音・撮影、スクリーンショットやダウンロードおよび資料等の無断転用や受講用 URL の無断転載は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合、著作権及び肖像権侵害で対処させて頂くことがございます。</p> <p>⑧ 不明な点などがございましたら、事前に下記までご連絡下さい。</p>
9 修了証	<p>受講者は、研修レポートを期限までに提出して下さい。 レポート提出締切後、マニュアルP13を参照の上、修了証をダウンロードして下さい。</p>
10 問合せ先	<p>社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部（平間） TEL：029-244-3755 E-MAIL：kenshu@ibaraki-welfare.or.jp</p>

研 修 日 程

【ライブ配信研修 (Zoom オンライン)】

日 時	研修科目	ねらい
令和3年11月30日(火) 9:20~9:55 9:55~10:00	Zoom 入室開始・承認 開講／オリエンテーション	
10:00~12:00 (適宜休憩があります)	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチロックとは・虐待行為と3つのロック ・スピーチロックが起きやすい現状 ・言葉表現力を養う 言葉表現と非言語表現・放送禁止用語紹介 ・演習「非言語表現」 ・演習「言語表現の自己診断シート」 スピーチロックの2軸（無意識と行動） ・グループ演習「スピーチロックになり得る言葉」 	スピーチロックを理解する。 自身の現状を振り返る。
12:00~13:00	昼食・休憩	
13:00~16:00 (適宜休憩があります)	<ul style="list-style-type: none"> ・起こり得る4つの要因とは ・スピーチロックの真の原因はヒューマンエラー ヒューマンエラーの種類 ・スピーチロック防止 4つの視点 アセスメント（評価基準）、エラーループ ・演習「ことばの改善」 ・演習「ケーススタディ」 ・まとめ 7つの行動変容ポイント 	スピーチロックを理解し、自身の意識を変え、実践することができる。
16:00	閉講	

※双方向の研修と演習実施のため、一人1台のパソコンとイヤホンマイクをご用意の上、参加して下さい。

※本研修の動画と資料データの著作権は、研修講師にあります。複製、録画は違法となりますので、絶対に行わないで下さい。

講師：(株)はあもにい 代表取締役社長 大野晴己氏

SBS 静岡放送退社後、1991 年はあもにい創業、1997 年法人化。2000 年愛知県岡崎市コミュニティ FM 局、(株)エフエム岡崎の立ち上げ、株主・取締役を 16 年間兼任。大学院で MOT（技術経営）を習得。パフォーマンス心理士として表現技術を専門に「人財共育」に取り組む。2017 年には、「採用育成サポート協同組合」を設立、理事長に就任。官公庁・行政団体、企業のコンサルティングとして「ヒューマンエラー」「クレーム」「メンタルヘルス」のほか、製造業・建設業では、「技能伝承」「作業効率」「5S改善」に取り組む。また、大学の教壇にも立つ傍ら、警察の雑踏警備「DJ ポリス」の研修をしたことがきっかけで、全国から「虐待防止研修」の依頼をいただく。研修・講演会など年間 500 回の実績。

【研修前準備と研修後のレポート提出について】

配布資料	<p>ライブ配信研修前には、研修システムページにログイン後、「課題管理ボタン」から資料をダウンロードして下さい。</p> <p>※各受講生 1 回のみダウンロード及び印刷とし、他者へ資料を転送しないようにお願いします。</p>
レポート	<p>修了証を希望する方は、研修終了後 12 月 7 日 (火) までに、レポートの提出をお願いします。それ以降は、修了証の発行対応ができませんので予めご了承下さい。</p> <p>研修システムマニュアル Ver8.1 の P24 を参照下さい。</p> <p>課題管理ボタンからレポートをダウンロードし、受講生が回答後、システムから提出下さい。</p>